株式会社エー・アンド・デイ

Company Profile

A&D Company, Limited

目次

トップメッセージ …… 3
事業概要 …… 4
計測・制御・シミュレーション事業 …… 6
計測機器事業 …… 8
計量機器事業 …… 9
医療・健康機器事業 …… 10
研究開発体制 …… 11
生産体制／サービス・サポート体制 …… 12
品質管理体制 …… 13
拠点一覧 …… 14
会社概要 …… 15

エー・アンド・デイグループの経営理念

使　命

わたしたちは、自然界の情報を捉え活かすための
アナログとデジタルの変換技術を原点に、
計測・制御技術を駆使したツールの提供によって
お客様による新しい価値の創出を支援し、
産業の発展と健康な生活に貢献します。

信　条

わたしたちは、「本物」にこだわり、自ら設けた課題に挑み、あきらめずにやり抜きます。

自己規定

人材　世の中の変化に敏感な人材
自ら考え、行動する人材
周囲の意欲を引き出し、共に挑戦する人材

組織　向かうべき方向を共有する組織
意欲を育てる組織
よく話し合い、情報を活かす組織

行動指針

お客様志向　お客様のパートナーとして、唯一無二の価値を提供する

革新性　世の中で最も革新的な“はかる”製品を創造する

実行力　目的を達成するため、常に当事者意識をもって行動する

連携　世界中のエー・アンド・デイの仲間と連携して行動する

法令順守　社会常識にもとづき、愚直に、地道に、良識をもって行動する

エー・アンド・デイグループ タグライン

Discover Precision

2017（平成29）年の創立40周年を機に、
エー・アンド・デイグループの目指すべき姿として、
タグライン「Discover Precision」を制定しました。
現状に満足することなく変化を先取りし未来を切り拓く。
常に高精度の技術・製品で新たなビジネスに挑戦を続ける。
Discover Precisionがわたしたちの使命です。

ごあいさつ

1977(昭和52)年の創業以来、エー・アンド・デイは「はかる」ことを通じ、産業と社会の発展に貢献してまいりました。今日、わたしたちの計量機器や計測機器は、さまざまな産業の現場で、そしてご家庭で幅広くお使いいただいております。

これもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝申し上げます。

経済的な停滞、エネルギー、テロ、少子高齢化、健康などわたしたちを取り巻く環境は大きく変化していく問題であふれており、そうした中で企業運営に求められる課題は、いかに軸(企業理念)をぶれさせず変化に対応していくかということであると考えております。

代表取締役執行役員社長
森島　泰信

持続的発展と企業価値の創造

変化に柔軟に対応し、未来に向けてエー・アンド・デイを持続的に発展させ、さらなる企業価値を創造していくために次の施策を講じてまいります。

成長戦略

企業の未来を見据え、安定的な成長を続けるためには、常に新しい市場を開拓していかねばなりません。当社は以下の3つの成長分野に注力し、積極的に事業の拡大を図ってまいります。

健康長寿社会	遠隔医療・リモート診断の体制構築に寄与することによる、健康長寿社会実現への貢献
デジタル社会	半導体のさらなる微細化実現に対応する機器の供給を通じた貢献
カーボンニュートラル	自動車関連業界向けシミュレーションツール・開発ツールの充実を通じた貢献

コーポレートガバナンス・コードへの対応

金融庁と東京証券取引所により策定された「コーポレートガバナンス・コード」の趣旨を踏まえ、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るための指針として、その明確化を図ります。

当社は、経営戦略にもとづく具体的な施策による企業の成長を通じ、ステークホルダーの皆様のご期待にお応えしてまいります。さらに社会の発展に貢献することに努めてまいりますので、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

「計る」「測る」「量る」――。
さまざまなものをはかる電子計測機器の開発・製造・販売が、エー・アンド・デイの事業です。

研究開発型企業

当社は、1977年、電子計測機器の開発と販売を目的として設立され、1978年に計量の分野、1987年には医療・健康の分野へと事業を拡大していきました。その事業展開の基盤は、「アナログ／デジタル(A/D)変換」「デジタル／アナログ(D/A)変換」の技術にありました。重さや音といったアナログ量をデジタル数値に変換したり、デジタル数値をアナログ量に変換する技術。社名もそこに由来しています。
当社の特長は、開発重視の研究開発型企業であること。研究・開発・設計・品質管理・生産管理・販売を行う一方、生産は国内外の関係会社に委託、両社の緊密な連携にもとづいて事業を展開しています。もうひとつの特長はグローバルな事業展開。現在は、12の国と地域に開発・製造・販売拠点を設けています。

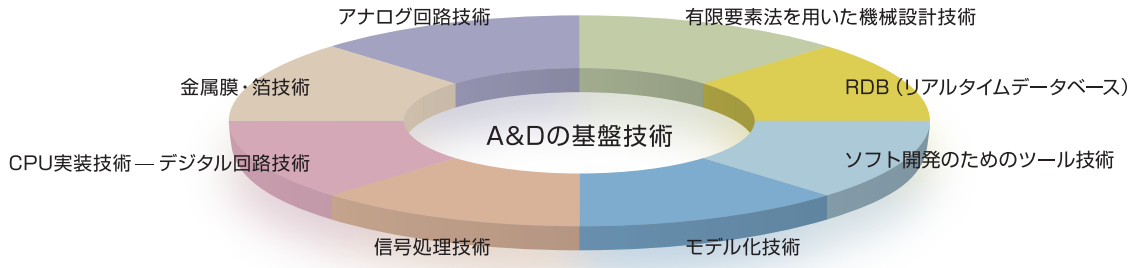
5つの事業領域

当社は、5分野を事業領域としています。開発プロセスを革新する「計測・制御・シミュレーション」の分野、半導体の製造用の「電子銃」とそれに伴う「A/D・D/A変換器」の分野、音や振動などの物理信号を解析する「波形解析システム」や、各種材料試験機、工業計測機器、汎用計測機器など「計測」の分野、物の重さを計測してデジタル表示する電子天びん、台はかり、ウェイトチェッカなどを中心とする「計量」の分野、デジタル血圧計や体重計などを中心とする「医療・健康」の分野があります。

8つの基盤技術

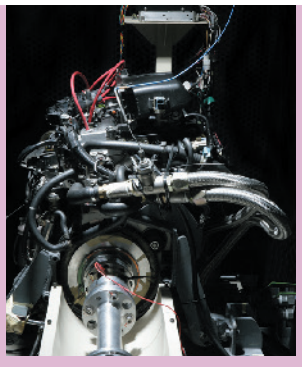
創業以来育んできたさまざまな技術を8つの基盤技術に統合強化し、各分野におけるアプリケーション技術との組み合わせにより、さらに新しい製品・サービスとしてご提供してまいります。

A&Dの事業領域



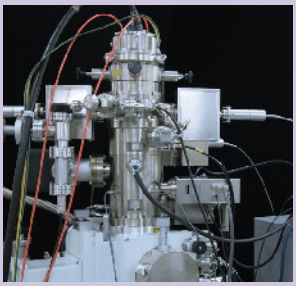
計測・制御・シミュレーション事業

計測と制御、そしてシミュレーションを一体化した、エー・アンド・デイ独自のテクノロジーです。計測したデータをもとに実際の動作を制御する技術だけでなく、これまで設計段階でコンピュータモデルを使い、次いで試作機でデータを収集・分析するといった過程を踏んでいたシミュレーションの作業を一度に行うことができるため、開発期間の短縮やコスト削減に貢献します。詳細についてはp6～7をご覧ください。



電子銃、A/D・D/A変換器事業

半導体製造現場で、回路に描画する際に用いる光源を照射するための装置です。電子銃はもとより、ビームの方向を制御するための偏向回路にも、わたしたちの基幹技術であるA/D・D/A変換技術を応用しています。詳細についてはp7をご覧ください。

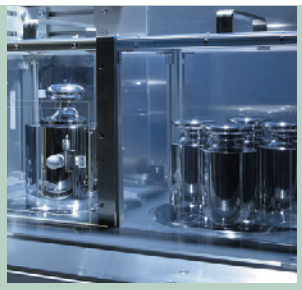


計測機器事業

音、振動、変位、強度、粘弾性などの物理量を高精度に計測し、分析する機器を開発する分野で、その製品は世界中に広がっています。詳細についてはp8をご覧ください。

計量機器事業

質量(重さ)をはかる機器を開発する事業で、電子天びんや台はかり、そのセンサ部分であるロードセルなど幅広いラインアップにより、さまざまなニーズにお応えしています。詳細についてはp9をご覧ください。



医療・健康機器事業

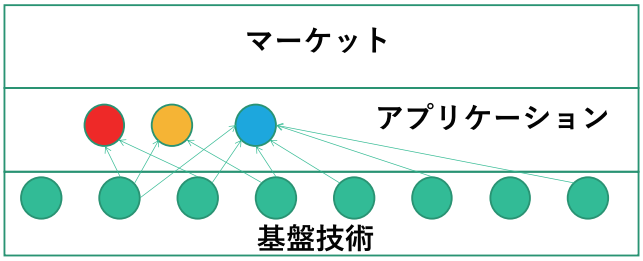
医療・健康産業から家庭用に至るさまざまな計測装置を開発する事業で、わたしたちが設立当初から開発している電子血圧計をはじめ、多種多彩な製品をご用意しています。詳細についてはp10をご覧ください。

Test for today,

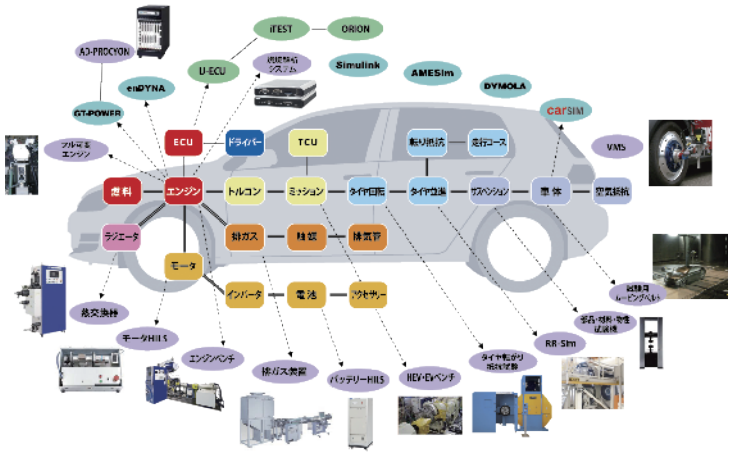
先の見えない時代に挑戦し続ける人たちがいる。
何が正解かわからない暗闇の中、前へ前へ進もうとしている。
そんな時代だからこそ、明日へ続く確かな道標が必要となります。

アナログとデジタルを結ぶ。

“持続可能な社会”の実現のため、テクノロジーが加速度的に進化していく今日、当社では創業当時から培ってきたアナログ技術を礎に、自動車／エネルギー／航空宇宙といった幅広い産業へソリューションを提供してまいりました。
“DX”や“カーボンニュートラル”といった急速に変化していく社会ニーズに対応し、変わらない確かな技術力を、変わっていく明日の社会へ。
当社はこれからも革新的なソリューションを提案し続けます。



8つの基盤技術と計測・制御・シミュレーション事業
アプリケーションの関係



これまで産みだされてきたアプリケーションの一例

開発・試作の高効率化を実現する新しい方法論

計測・制御・シミュレーション事業は、AD変換技術をコアにエー・アンド・デイが持つ“8つの基盤技術”をベースにアプリケーション（製品／サービス／ソリューション）を展開しています。

1990年代半ばより、今日まで自動車産業を中心に開発プロセスを効率よく進める手法として、制御対象を数値モデルに置き換えるモデルを用いたシミュレーション検証が推進されてきました。

シミュレーション検証は、各開発プロセスでの手戻りを軽減することを目的とし、基準となる車両モデルを構築・同定し、開発プロセスの進行に応じて、そのモデルをコンポーネント単位で実機に置き換えていく手法です。

その際の課題として、“モデルの精度”追求と同定にかかる工数があげられてきました。

この課題を解決するために、当社は、“計測データの精度”にこだわり、“正しい計測”を行うためのセンサー、“正しい制御”を行うための制御機器、“正しい試験”を行うための試験装置の姿を追求しお客様へ提供してまいりました。

左図がその概念図とアプリケーションとして開発を行って製品化した製品群の一例です。

わたしたちは培ってきた計測・制御・シミュレーションツールを通じて、挑戦する人たちの足元を照らす光となります。

●PTT（パワートレインテスティング）

これまで、パワートレイン試験用システムを国内外のお客様へ多数提供してまいりました。今後は電動車開発を推進するため、最先端のバッテリやモータの試験装置を提供します。また究極の低燃費車開発のため、正確な冷間始動エミッション測定装置を提供します。

●XILS（X In The Loop Simulation）

V工程における“開発の効率化”をキーワードに今後加速するであろうV工程左側へのシフト（シフトレフト）のための“ソリューション提供”を行っていきます。また各工程間のシームレスな連携や既存ツールとのフレキシブルな接続、リモート化への対応ツール提供を推進していきます。

●VDT（Vehicle Dynamics Testing）

“新時代の台上試験へ”をキーワードにDSPを使った制御技術と機械設計技術を融合し、タイヤや車両開発のための動的試験装置を提供します。

●エンジニアリング

“真実へ導く技術を提供”をキーワードにパワートレイン、車両動特性の開発支援、試験受託サービスを提供します。

●力計測センサー

“正しく測る”をキーワードに、耐環境に強いひずみゲージを応用し各種6分力計・3分力計を提供します。力・トルクを含む車両全体を計測するVMS（Vehicle Mesurement System）も提供しています。

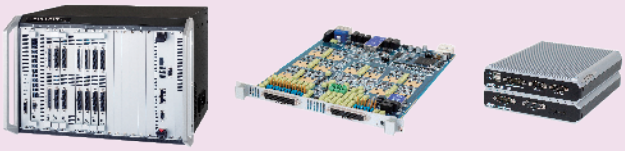
●半導体産業向け事業〔関係会社（株）ホロンを含む〕

今後一段と加速していく自動車の電動化、通信の高機能化による半導体産業への高まる需要に対して、当社と関係会社（株）ホロンはSEM検査機の製造販売・電子・イオンビーム技術を応用した検査・加工機器の開発支援・試作や量産化の支援をしています。

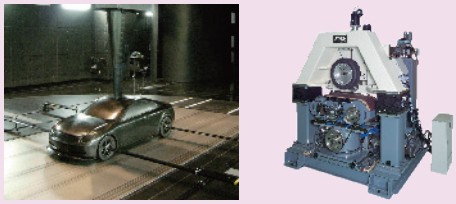
●関係会社〔（株）ベスト測器／（株）サム電子機械〕

・（株）ベスト測器：自動車などが排出する排気ガスを高精度に測定をするガス分析計、触媒開発のための評価装置を提供します。
・（株）サム電子機械：“お客様が真に必要としている試験機の提供”をキーワードに主に自動車部品を対象とした“疲労・耐久・性能”試験機を提供します。

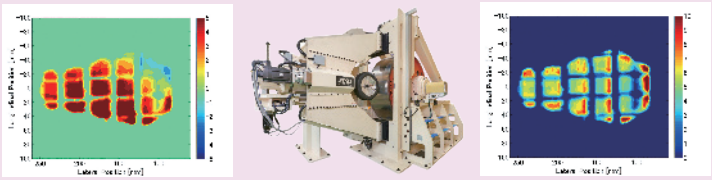
PTT：BATTERY TESTING/POWER TRAIN TESTING



XILS：HELIOS/MOTOR HILSボード/SELENE

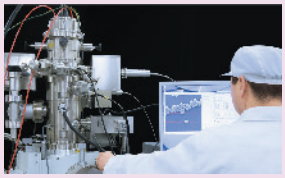


VDT：風洞装置用ムービングベルト / フラットベルトタイヤテストリグ

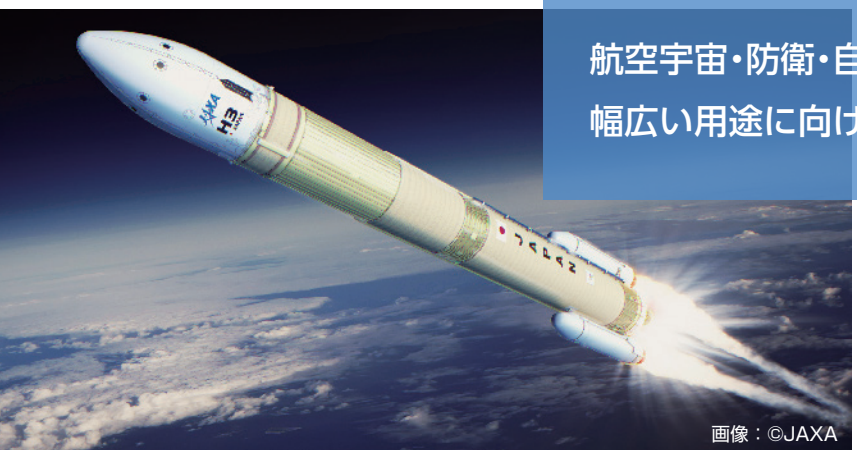


エンジニアリング：動的タイヤ接地力（データサンプル）
Force Matrix Sensor 搭載タイヤドラム試験機（DCFR）

力計測センサー：VMS(Vehicle Mesurement System)



半導体産業向け製品：電子銃装置



航空宇宙・防衛・自動車などの産業用から家庭用に至る幅広い用途に向けて、多様な製品をお届けしています。

国内外の幅広い分野で高い信頼を集めています。

計測機器事業は、音や振動、あるいは厚みや強度、変位など、さまざまな現象、物理量を計測し、解析するための機器を開発している事業です。

振動・騒音解析システム

データアクイジション装置　RA3100

デジタルオシロスコープ　AD-5143

熱中症指数計　AD-5698

万能材料試験機 RTH/RTIシリーズ

●波形解析システム

時間的に変化する音・振動・ひずみなどの物理信号をセンサーから取り込みFFT解析を行うシステムです。用途や機能に応じて4ch単体から多chのシステムupまで対応でき、回転次数比解析、騒音解析などのアプリケーションを用意しています。

（主な用途）

- 4ch単体　FFTアナライザー
- 多ch波形解析システム（車載対応可）
- 判定用FFTコンパレータ

●工業用計測機器

自動車、鉄道、宇宙・航空、鉄鋼、重電、産業機械、建築・土木などの工業生産の過程において、ひずみ、荷重、圧力、加速度等のセンサーより得られる情報を増幅して電圧出力するシグナルコンディショナ製品や多チャネルの測定データを連続的に記録するデータアクイジション装置を提供しています。

●電子計測機器

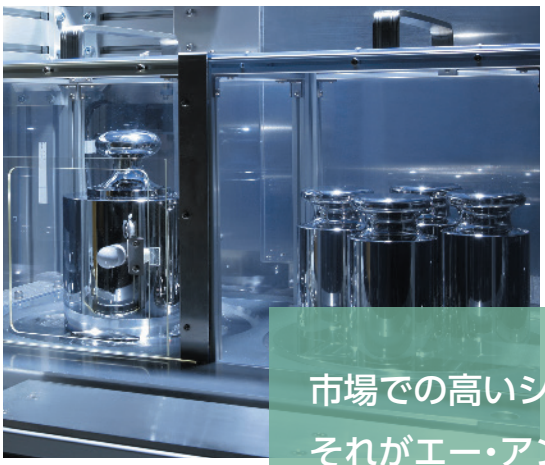
さまざまな産業を支える計測ツールとして汎用電子計測機器を数多く提供しています。

- デジタルオシロスコープ、デジタルマルチメータ、クランプメータ、周波数カウンタ、ファンクションジェネレータ、直流安定化電源
- 熱中症指数計、絶対湿度・露点計、デジタル温湿度計、中心温度計、温湿度データロガー、ワイヤレス温湿度計システム、放射温度計、サーマルイメージカメラ、熱電対温度計
- 超音波厚さ計、デジタルノギス
- デジタル塩分計、デジタルタイマー、タコメータ、フォースゲージ

●材料試験機

物質の強度や変位などを測定する「引張圧縮試験機」や粘弾性、粘度、摩擦摩耗、界面挙動などの物性を試験する「物性試験機」に特化し、研究開発の基礎となる材料の特性把握や部品の強度試験といった試験ニーズにお応えしています。メンテナンスやカスタマイズを含む総合的なサービスも行っています。

- 強度、変位、摩擦摩耗、動的粘弾性、動的接触角、粘度、水分



市場での高いシェア。
それがエー・アンド・デイのテクノロジーの水準を物語っています。

あらゆる対象の重さを高精度に量るニーズに対応

計量機器事業は、マイクログラムから高精度に「はかる」ことができる計量機器、またそのセンサーを開発している事業です。
近年では検査装置として、ウェイトチェッカ、金属検出機、X線検査機も開発しています。

●天びん・はかり

近年、各種分析の高度化に伴い、天びんにも高精度化が求められています。当社では1μg～1t以上まで計量するさまざまなシーンに合わせた製品をご用意しています。

・研究開発分野で使用する分析天びん
1mgの1,000分の1=1μgを表示可能で除電器とオートドアも備えた分析天びんなどさまざまな製品があります。

・産業用分野で使用する台はかり
厳しい環境下でも使用できる防水・防塵、防爆仕様まで幅広い用途をカバーしています。

●計量コンポーネンツ

計量機器のキーコンポーネンツとして、質量または力を計測するためのロードセル、その信号を高精度にデジタル変換・表示するインジケータを開発しています。
生産ライン組込用の小型・高速計量器から、サイロやダンプカー向けの超大型計量器、工作機械、各種試験機など、あらゆる産業分野で使用されています。

●検査装置

生産工程はますます自動化が進み、インライン検査可能な製品ニーズが高まっています。当社では、力センサーや新たに開発した技術によりお客様のご要望にお応えします。

・ライン上を流れる製品の質量を計測し、質量の過不足、欠品や員数不足等の不良を検出するウェイトチェッカ
・磁界の乱れを捉えて金属異物を検出する金属検出機
・X線を使用し、異物混入の有無をはじめ、被検査物の形状・数量・推定質量・位置の良否を判定するX線検査機

最小表示1μg
マイクロ天びん　BA-6TE

防塵・防水台はかり
HV/HW-CPシリーズ

ロードセルLCM13

ウェイングモジュール AD-4430A

ウェイトチェッカ
AD-4961Aシリーズ

X線検査機
AD-4991シリーズ

家庭から医療機関における検査・診断・ヘルスケアニーズに信頼の品質と幅広いラインアップでお応えしています。

家庭から医療機関まで対応した製品をグローバルに展開

血圧や体重測定において重要な「正確な値」にこだわりを持った製品開発と品質で、医療機関向け医用電子血圧計、業務用体重計、家庭用健康機器の３つの柱で事業を展開しています。

●医療機関向け医用電子血圧計

病院、クリニック、介護施設などで検査・診断にご使用いただける血圧測定を中心とした医用電子血圧計や入院患者のバイタル測定を可能とした生体情報モニタなどの製品を展開しています。

- 医療従事者が聴診法で測定に使用する手動式血圧計
- 医療機関向けの上腕式医用電子血圧計
- 血圧日内変動を測定できる携帯型自動血圧計
- 病院待合室や公共スペースにて自己測定可能な全自動血圧計

●医療機関向け業務用体重計

病院・透析施設などで使用される手すり付き体重計、車イス用体重計や健診施設で使用される身長体重計、医療機関での使用を想定した体重測定が可能なストレッチャスケールなどの製品ラインアップを展開しています。

- 寝たままの状態で体重測定が可能なストレッチャスケール
- 段差の少ないバリアフリー構造で、車イスに乗ったまま体重測定ができるバリアフリースケール
- 身長体重を自動測定し測定後にBMI値を表示する全自動身長体重計

●家庭用健康機器

個人で血圧管理が可能な上腕、手首式自動血圧計や日々の健康管理に体重計、体温計、活動量計などをラインアップしており、スマートフォンアプリにデータ保存やグラフ表示などを可能とするICT対応製品を開発。

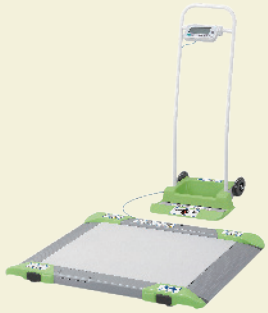
家庭用健康機器は、医療・健康機器事業を支える主力製品としてグローバルに展開しています。

- ワンボタンでシンプル操作の上腕、手首式自動血圧計
- 無線通信機能を搭載のホースレス血圧計や予測式体温計はスマートフォン用アプリに対応
- のどを加湿し温めて潤わせる超音波温熱吸入器

携帯型自動血圧計 TM-2441

全自動血圧計 TM-2657シリーズ

ストレッチャスケール AD-6051A



バリアフリースケール車イス用 AD-6106R

Bluetooth® 内蔵血圧計
UA-651BLE Plus

Bluetooth® 内蔵上腕式ホースレス血圧計
UA-1200BLE

スマートフォン対応
予測式体温計 UT-201BLE Plus

超音波温熱吸入器 UN-135
（ホットシャワー 5）

研究開発型企業として、常に世界を視野に入れ、チャレンジ精神にもとづく意欲的な研究を続けています。

物体のひずみを測定するための力学的センサの開発

テストコース上での評価試験を台上で再現するシミュレータ(操作部)

新しい価値の創造に向けた研究開発

当社は、社員の約半数が設計や開発に携わる研究開発型企業。その使命は、世界最高水準の製品、世界の誰もが正確に、簡単に使える製品を開発することにあります。そのために、常にグローバルな市場を意識し、真に有用な価値・技術を生み出すために、使命を共有したオープンで自由闊達な環境をベースに、市場の声を第一に考える真摯な姿勢、そして最後まであきらめない強さをそなえた組織を目指しています。

こうした基本の上に、開発効率を最大化するため開発部門を3つに分割、それぞれに適材適所で人材を配置し、目的と責任を明確にして運営する体制を敷いています。

3つの開発部門のうちひとつは、成長期から成熟段階にある製品群、すなわち電子天びん、台はかり、材料試験機、各種センサーなどの開発を担当しています。エー・アンド・デイの製品は、多くの国のさまざまな状況下で使用されていますので、そうした条件を常に念頭に置いてきめ細やかな開発を進めています。さらに、技術の改良・応用により、ラインアップの充実を目指しています。

不可能といわれる開発課題への挑戦

2つ目の開発部門は、DSP技術にもとづく計測・制御・シミュレーションシステムなど、これからの成長分野と考えられる製品の開発を担当しています。ワールドクラスの性能を持つ製品、まだ世界に例のない製品を意欲的に開発すること。それがこの部門の大いなる使命です。

これまで積み重ねてきた高いレベルの技術を基盤に、不可能と言われてきた開発課題にも果敢にチャレンジし、産業界の未来を創造していくために知恵を結集することが、当社に課せられた責務と考えています。

3つ目の開発部門は、医療・健康関連製品を担当します。研究者や医療の専門家の高度な要求から、どなたでも間違いなく使え、しかもお求めやすい価格が望まれる家庭用製品まで幅広くお応えできるユニークさを特長としています。

マイコン搭載計測機器から出発

真空管からトランジスターに移行した1950年代半ば、産業界の電子化が始まりました。その流れはIC、LSIへと進展し、1970年代半ばには、さまざまな電子機器がマイコンを搭載するようになりました。エー・アンド・デイが誕生したのは、まさにそうした時代。1977(昭和52)年のことでした。

最初に着手したのは、計測機器、計量機器、血圧計にマイコンを組み込み、電子機器として市場に送り出すという新しい試みです。そのチャレンジ精神は、次いで、1978(昭和53)年に発表された、電子ビーム露光装置のための「ビーム偏向用D/A変換器」、1979(昭和54)年に発表されたトラック積載量計量のための「トラックスケール用インジケータ」に結実します。さらに1982(昭和57)年には最初の電子天びん「EX、EY、EZシリーズ」、1983(昭和58)年には世界最高レベルの性能を誇るFFTアナライザ「AD3521」、1984(昭和59)年には計量センサーの各種ロードセルを開発するなど、着実にラインアップを拡大していきました。

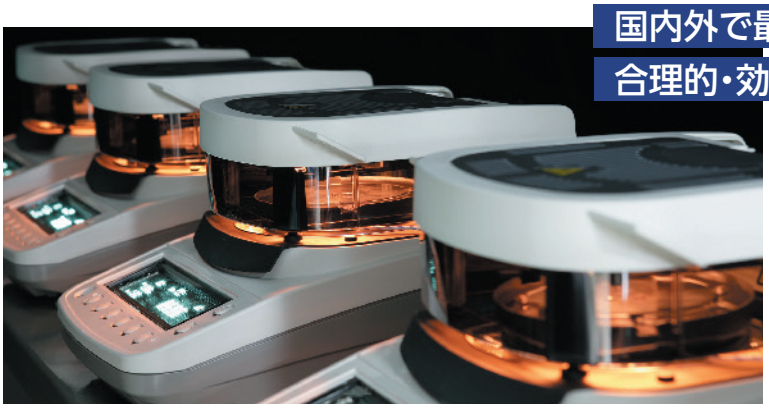
困難を乗り越えて蓄積されたノウハウ

さらに次世代を見据えた開発に着手。パソコンを活用した計測システムの構築という、当時としてはきわめて野心的なプロジェクトを進め、1989(昭和64)年から3年の期間を経て、音振解析装置「World Class Analyzer」が完成します。世界で3社しか成功しなかったこの困難な開発への取り組みは、当社にとってきわめて有意義でしたが、同時に多くの課題ももたらしました。

最も大きな課題は、ソフトウエアの生産性の絶対的な向上。そのためには、データの処理能力を飛躍的に向上させることが必要でした。ここから、DSP(デジタル信号プロセッサー)を用いて、データを高速にリアルタイム処理するファームウエアの開発、高速演算を可能にするアルゴリズムの開発というブレークスルーが生まれました。これらの研究成果が、今日、DSPを応用した「計測・制御・シミュレーションシステム」の開発に結びつき、将来を見据えた自動車メーカーとの共同開発などへ発展しています。

さらに、その技術的シーズの具体化が、計量、医療、LA、FAなどより広範な分野において進められています。

国内外で最適地生産を徹底、合理的・効率的な生産体制を整えています。



水分計の自動検査装置

製品の特性に合わせた生産体制

当社は、生産の大半を関係会社や提携会社へ委託しており、製品の性能や目的を考慮して、国内外から最適の委託先を選定しています。

製品群は、製造方法によって大きく2種類に分けることができます。ひとつは、汎用計量器や家庭用血圧計などの「量産型製品」で、もうひとつは、各種の計測機器や電子銃、A/D・D/A変換器のような「個別生産型製品」です。そして、製造方法の違いに応じて、最適の生産体制を敷いています。

量産型製品の場合、設計・開発段階から量産効果が最大限に発揮される仕様を追求するとともに、相対的にコストの安価な海外での生産を行います。一方、個別生産型製品の場合、独自に開発した固有の技術を集約して生産することが必要になるため、国内での生産が主体となります。

これにより、コスト対応力、高い技術・品質レベルの保持、納期の短縮が可能となります。市場やお客様のますます高まる要望に迅速にお応えすべく、生産を企業活動における重要なファクターと認識し、今後も十分な検証のもと大胆かつ細心に生産体制の構築を進めていきます。

サービス・サポート体制

さまざまなサポート・サービス体制でお客様に密着しています。

さまざまなサポート・サービス体制の展開

フィールドエンジニアリング部では、常にお客様のニーズを現場で把握することに努めており、故障や不具合を未然に防ぐための定期点検や保守契約サービスなどを徹底しています。さらに、電話による血圧測定に関するお客様相談室の開設等、さまざまなサポート体制により、お客様に密着したサービスを展開しています。

開発・技術センター（埼玉県北本市）

中部・西日本テクニカルセンター

- ●静岡県西部以西の中部・西日本エリアにおける、自動車関連試験機と各種材料試験機の技術サポート力強化
- ●お客様の近くに配置するサポートエンジニアを増員することによるスピード対応
- ●埼玉県北本市の開発・技術センターとの両輪体制による技術開発機能の強化

お客様の業務プロセスの革新に貢献いたします。

①テクニカルエンジニアリング
効率改善、機能向上

②サポート
スピード対応、安心・安全、現場状態・状況の理解

③イノベーション
先端技術開発、お客様ニーズの早急なキャッチ

電磁波の影響を測定する電波暗室

自動血圧計の検査

わたしたちが最も大切にしているのは品質。
だからこそ、厳格な品質管理を徹底しています。

組織的で厳格な品質保証体制

お客様に最もご満足いただくために、何よりも大切なのは品質。世界各国に、幅広い製品をいつも変わらぬ信頼感とともにお届けしなければなりません。このため、品質の維持・管理・向上については、組織的で厳格な体制を敷き、絶えざるスキルアップに努めています。

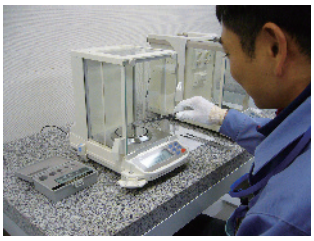
お客様の声を品質向上に活かす体制

当社はお客様の声を何より大切にします。そのために、お客様の声を製品開発やサービスにフィードバックし、品質改善に役立てるしくみとして、ユーザーの皆様のご質問やご要望に即応するための社内ネットワークがあります。これを通じて、社員全員がお客様の声を閲覧でき、開発や設計、営業活動に活かすことができるのです。

校正サービス

エー・アンド・デイは、JCSS校正認定事業者です。
はかり・分銅・一軸試験機・力計・トルクメータのJCSS校正証明書の発行が可能です。

さまざまな製品を取り扱う計量・計測器メーカーとして、当社では5つのJCSS校正品目の他に、さらに7つの一般(ISO)校正も当社グループにて一括して承ることができます。計量・計測器メーカーの安心・安全なサポート体制に加え、幅広い校正品目をお任せいただくことができます。〔JCSS校正品目は、一般(ISO)校正も可能です。〕



リトラ株式会社が所有する特定二次標準器
(最大圧縮力10 MN(引張力1MN)まで対応可能)

質量(はかり・分銅)、
力(一軸試験機)は
株式会社エー・アンド・デイ校正室が
実施します。

ilac-MRA IAJapan JCSS JCSS 0107

株式会社エー・アンド・デイ校正室は、認定基準としてISO/IEC17025を用い、認定スキームをISO/IEC17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋認定協力機構(APAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。株式会社エー・アンド・デイ校正室は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS0107は、当校正室の認定番号です。

力(力計)、
トルク(トルクメータ)は
関連会社の
リトラ株式会社校正室が
実施します。

ilac-MRA IAJapan JCSS JCSS 0099

リトラ株式会社校正室は、認定基準としてISO/IEC17025を用い、認定スキームをISO/IEC17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋認定協力機構(APAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。リトラ株式会社校正室は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS0099は、当校正室の認定番号です。

本社・営業
〒170-0013　東京都豊島区東池袋3-23-14
TEL:03-5391-6123　FAX:03-5391-6129

開発・技術センター
〒364-8585　埼玉県北本市朝日1-243
TEL:048-593-1111　FAX:048-593-1119

中部・西日本テクニカルセンター
〒465-0035　愛知県名古屋市名東区豊が丘407
TEL:052-728-1102　FAX:052-726-8769

札幌出張所
〒060-0001　北海道札幌市中央区北1条西9-3-27
第三古久根ビル2階
TEL:011-251-2753　FAX:011-251-2759

仙台営業所
〒980-0014　宮城県仙台市青葉区本町1-12-7
三共仙台ビル6階
TEL:022-211-8051　FAX:022-211-8052

宇都宮営業所
〒321-0953　栃木県宇都宮市東宿郷3-1-9
あかねビル7階
TEL:028-610-0377　FAX:028-633-2166

東京北営業所
〒364-0005　埼玉県北本市本宿2-103
TEL:048-592-3111　FAX:048-592-3117

東京南営業所
〒222-0033　神奈川県横浜市港北区新横浜1-14-20
光正第2ビル3階
TEL:045-476-5231　FAX:045-476-5232

静岡営業所
〒422-8041　静岡県静岡市駿河区中田2-1-6
石田街道ビル3階
TEL:054-286-2880　FAX:054-286-2955

名古屋営業所
〒465-0035　愛知県名古屋市名東区豊が丘407
TEL:052-726-8760　FAX:052-726-8769

大阪営業所
〒532-0003　大阪府大阪市淀川区宮原3- 5-24
新大阪第一生命ビルディング6階
TEL:06-7668-3900　FAX:06-7668-3901

広島営業所
〒733-0037　広島県広島市西区西観音町9-7
なかよしビル4階
TEL:082-233-0611　FAX:082-233-7058

福岡営業所
〒812-0013　福岡県福岡市博多区博多駅東3-5-8
サンエイビル2階
TEL:092-441-6715　FAX:092-411-2815

東海事業所
〒507-0054　岐阜県多治見市宝町9-19
TEL:0572-21-6644　FAX:0572-22-8234

関係会社

株式会社Ａ＆Ｄホロンホールディングス
〒170-0013　東京都豊島区東池袋三丁目23番14号
TEL:03-5391-6124　FAX:03-5391-6129

株式会社ホロン
〒190-0032　東京都立川市上砂町5-40-1
TEL:042-537-7990　FAX:042-537-7972
半導体検査装置の開発、製造、販売

当社子会社等(国内)

株式会社Ａ＆Ｄマニュファクチャリング
本社・つくば事業所
〒304-0031　茨城県下妻市高道祖4210-15
TEL:0296-43-7035　FAX:0296-43-6007
電子天びん、医療機器の生産

日高事業所
〒350-1205　埼玉県日高市大字原宿7-5
TEL:042-985-4668　FAX:042-985-4519
ロードセル、デジタル台はかり、カウンティングスケールなどの生産

深谷事業所
〒369-0221　埼玉県深谷市榛沢新田161
TEL:048-585-6221　FAX:048-585-6232
材料試験機、計測機器などの生産

株式会社サム電子機械
〒190-1232　東京都西多摩郡瑞穂町長岡3-4-17
TEL:042-513-9201　FAX:042-513-9204
各種試験装置の開発、製造

株式会社ベスト測器
〒614-8176　京都府八幡市上津屋中堤111
TEL:075-982-6007　FAX:075-982-2010
環境計測機器の開発、製造、販売

国内外を網羅する、
きめ細やかな販売ネットワークを構築しています。

本社

当社子会社等(海外)

A&D ENGINEERING, INC. (Michigan, U.S.A.)
計量・計測機器とシステム、健康機器、医療機器の販売、テクニカル・サービス、トレーニング、情報流通の米国拠点

A&D Technology Inc. (Michigan, U.S.A.)
計測・制御・シミュレーション事業の北米拠点

A&D Instruments Canada Inc.(Ontario, CANADA)
医療機器販売

A&D INSTRUMENTS LIMITED (Oxford, U.K.)
計量・計測機器とシステム、健康機器、医療機器の販売、テクニカル・サービス、トレーニング、情報流通の欧州拠点

A&D Europe GmbH (Darmstadt, GERMANY)
計測・制御・シミュレーション事業の欧州拠点

A&D RUS CO., LTD. (Moscow, RUSSIA)
ロシアにおける医療・健康機器および計測・計量機器の販売拠点

A&D KOREA Limited (Seoul, KOREA)
計量機器とシステムの生産と販売、テクニカル・サービス、トレーニング、情報流通の韓国拠点

A&D SCALES CO., LTD. (Chungcheongbuk-do, KOREA)
計量機器の生産拠点

A&D AUSTRALASIA PTY LTD (Adelaide, AUSTRALIA)
計量機器とシステム、健康機器、医療機器の販売、テクニカル・サービス、トレーニング、情報流通のオセアニア拠点

愛安徳技研貿易(上海)有限公司(Shanghai,CHINA)
医療機器、計測制御シミュレーション機器、計測制御シミュレーションシステム、試験装置の販売、テクニカル・サービス

愛安徳電子(深圳)有限公司(Shenzhen,CHINA)
家庭用デジタル血圧計などの生産

A&D Instruments India Private Limited (Haryana, INDIA)
インドにおける電子天びんを始めとする計量機器の販売および技術サポート

A&D SCIENTECH TAIWAN LIMITED (Taipei, TAIWAN)
計量機器とシステムの販売、テクニカル・サービス、トレーニング、情報流通の台湾拠点

A&D Vietnam Limited (Bắc Ninh province, VIETNAM)
家庭用デジタル血圧計などの生産

A&D INSTRUMENTS (THAILAND) LIMITED (Pathumthani, THAILAND)
計量・計測機器とシステムの販売、テクニカル・サービス、トレーニング、情報流通のタイ拠点

12の国と地域に
開発・製造・販売拠点を設けています。

会社概要

Company Profile

社名
株式会社エー・アンド・デイ
(A&Dホロンホールディングス　グループ企業)

所在地
〒170-0013　東京都豊島区東池袋3丁目23番14号
TEL.03-5391-6123　FAX.03-5391-6129

代表取締役執行役員社長
森島　泰信

事業内容
電子計測器、産業用重量計、電子天びん、医療用電子機器、試験機
その他　電子応用機器の研究開発、製造、販売

主要製品
計測・制御・シミュレーションシステム、FFTアナライザ、音・振動解析装置、超音波探傷器、超音波厚さ計、各種材料試験機

半導体製造装置用A/D・D/A変換器、電子銃

電子天びん、デジタル台はかり、計量用指示計、計量・計測用コントローラ

ウェイトチェッカ、金属検出機、X線検査機、ロードセル、各種産業用計量装置、計量・計測データ処理システム

医療用電子血圧計、業務用体重計、家庭用血圧計・体重計、超音波温熱吸入器・体温計・活動量計

各種汎用電子計測機器、工業計測機器

株式会社エー・アンド・デイ
東京都豊島区東池袋3丁目23番14号 〒170-0013
TEL 03-5391-6123（代） FAX 03-5391-6129
https://www.aandd.co.jp

ADCP-ADJC-26-CO20-23303GP